

さかいで再生会議（第1回）議事概要

日時： 令和4年9月26日（月）10:00～12:00

場所： 坂出市役所 本庁舎2階大会議室

委員： 天米一志、石井秀幸、新居準也、片山将光、中橋恵美子（欠席）、川滝浩嗣、大美省吾、中井今日子、山下健二、関口智彦、平池岳弘、尾幡季之、浦田俊一

1. 坂出駅周辺再整備基本構想について

(1) 坂出駅周辺の現状について

【委員意見】

- ・どの自治体も暮らしやすいまちを目指しているなかで、総花的な目標設定ではどれも中途半端に映り、他市町との差別化が図れない。何を捨てて、何を取るかという取捨選択を問われている。そのなかでも、子育て支援については、乳幼児期の支援はもちろん、妊娠期からの支援など身近で敷居の低い子育て支援を目指すべき。
- ・坂出の課題について、シビックプライドが近隣の自治体に比べ低く感じる。ポテンシャルがあるにも関わらず、内側から変えていこうという意思のある住民が少なく、また、そうした住民が活躍できる土俵がないと思う。
- ・対象エリアについて、長い間手を付けてこなかったことが逆にポテンシャルであると思うので、この会議は四国の中でもエポックメイキング的なことになると感じている。
- ・どこまでをウォークアブルな範囲として設定するか、無理のないエリアをもう少し絞って設定したほうが良い。
- ・「壊し過ぎない、作り過ぎない」ということが重要。例えば、人工土地はどこにもまねのできないものであり、その再活性などを一つの肝としてほしい。
- ・交通量が多いことは強みでもあり、弱みでもあるところでもある。少し歩きづらく、まちの景観に繋がりが無い。
- ・いろいろなものが多岐にわたっているので、どこから手を付けるのか、拠点をつくることも大事であるが、繋がりをいかに持たしていくか、ハードだけでなく、ソフトの作り込みをどうするかということも大事である。
- ・香風園観月会は、非常に素晴らしく魅力的なイベントであるがあまり知られていない。対外への発信や魅力を伝える努力はもっと必要。
- ・検討対象エリアには、歩いて楽しめるような既存施設がたくさんあるので、そのようなものに磨きをかけていき、にぎわいを生むようなエリアにしていくべき。
- ・現在、緩衝緑地の機能を享受している人もおり、特に近隣の住民は関係してくると思う。近隣の住民に愛される結果になればいいと思う。
- ・対象地区である中心市街地は、交通便利性が高く、教育文化施設、医療施設が複数立地し、四国の玄関口にふさわしい多彩な都市機能が集積されている印象がある。こういった拠点性をさらに深めて、より一層の都市機能の充実化、まちなか居住が促進されるようにしたい。
- ・官でやりづらいことに関して、公民連携として民間を上手に使うべき。
- ・単なる5万人の地方都市ではなく、四国の玄関である。歴史的にも、立地的にもフロントであ

るし、かつてはフロンティアスピリットを持っていた人もいたことから、それらの利点を活かして取り組めばいい。

- ・市が目指すべき方向性を実現させていくには、行政サービスについて他と同じレベルを保っているのかという目線は必要。
- ・若い人は、学校区で居住地を選び、そこにマンションがあるのか、公園があるかということで選んでいる。そこをしっかりとPRしていくことが重要。
- ・坂出市の一番の強みは名だたる企業が立地していることであるが、周りの市町から通勤している人が多いという特徴について、その理由が何なのかをしっかりと分析し、市としてどういった施策が打てるのかを考えていくことも一つの手である。
- ・坂出市に行こうと考えた時に、これが一番であるという目玉になるものが弱い。
- ・ウォークラブルなまちづくりには車の流量を減らさないと安心して暮らせるまちづくりはできない。点と点を結ぶ公共交通の充実は一つの共通の目的として進めていくべきである。
- ・坂出駅は、岡山、高松、高知、松山のハブステーションと言っても過言ではないので、交通機能の連携について、公共サービスとの連携も視野に入れて検討できればいい。
- ・まちの構造が非常に明快であると思う。まちの背骨をきちんと議論しながら、新しい施設を肉付けしていくと、このまちの骨格が分かりやすくなるのではないかと思う。
- ・未来に対して社会実験や実証実験もたくさん行われているので、やってみた結果失敗したとしても再チャレンジしていく余地もこの会議で提言していくことが必要でないか。

(2) アンケートの実施状況について

【委員意見】

- ・項目が重複し、複数回答OKとしていることから、具体性に欠けるという印象を受けたが、市民の大体の方向性や感覚を吸い取ることができるという意味では丁寧なアンケートである。
- ・新しいことが今から始まるなというフックのようなものが足りない、型どおりのアンケートであると感じる。
- ・高校生の意見を掘り下げていくという作業も必要である。

2. 今後のスケジュール等について

【委員意見】

- ・せっかく高校生から意見をもらっているなので、もう少し高校生との対話の時間があってもいいと思う。できればこの会議のことも伝えてもらい、フィードバックを相互にし合うようなことができればいい。